

## もてぎチャンピオンカップレース 開幕戦 レポート

(ツインリンクもてぎ ロードコース 3月17日 晴れ)



<レーシングチーム> LTV Racing

<ドライバー> 天野 翼 (20歳)

<参戦クラス> Super-FJクラス(ゼッケン23番 参加15台)

<マシン> ZAP F109

<タイヤ> YOKOHAMA

<オイル> WAKO'S

<リザルト>

予選 4位

決勝 9位 (2ポイント)

<リザルト詳細URL>

ツインリンクもてぎ [http://www.twinring.jp/result\\_m/2013/4wheel/](http://www.twinring.jp/result_m/2013/4wheel/)

Super-FJオフィシャル <http://www.jss-org.com/>

## <詳細レポート>

### \* 金・土曜日練習走行

シリーズ開幕戦ということもあり、1台を除き14台が参加。

その一台は、鈴鹿シリーズでデビューレースをポートゥーウィンで成し遂げた根本選手(16歳)。高校の授業がある為、練習走行は不参加だった。

その優勝候補が不参加とは言え、天野選手はトップタイムをマークする。

今年から本格参戦の新型車 ZAP109 と今回がデビューレースの天野選手、そして新しいチームがいきなり速さを見せ、注目をあびることとなる。

### \* レース当日

#### 【公式予選】

練習走行で好タイムをマークしたセッティングのまま、10分間のタイムアタックに挑む。ここで初参戦の洗礼を受けることとなる。

天野選手がコックピットに納まると、ライバルのマシンはすでにピットロードで整列。

短い予選で少しでも良いポジションを確保しようと、すでに駆け引きが始まっていた。

これに焦って集団に並んでしまったが、反省点としては、冷静に集団最後尾からポジションを確保することが最善だった。

予選が始まると案の定、前車に引っかかってペースが上げられない。

途中でペースを落として、前車との間隔を空けてタイムアタックをかけた周がベストラップとなるが、次の周も前車に追いついてしまいタイムオーバーとなる。

2'02.985のタイムは、練習走行のコンマ2秒落ちで予選4位。練習走行でのベストラップが出ていれば、予選2位を確保できていただけに悔やまれる。

ポールポジションは、優勝候補筆頭の根本選手だった。

#### 【決勝レース】

デビューレースということで、スタンディングスタートは初めての体験となるが、表彰台に向けて、スタートダッシュにかける。

ファーマーシオンラップでのタイヤの温めと、スタート後の仕掛けどころのシミュレーションを確認し、スターティンググリットにつく。

シグナルスタートで、出遅れたのがポールポジションの根本選手。

そして、天野選手は、2番手3番手の選手よりも蹴り出しが良く、4台が横並びで1コーナーへ。最内にいた天野選手は、初レースということもあり無理に仕掛けず引いて、スタートポジションキープのまま3コーナーへ。根本選手が2番手に落ちたこともありトップ集団は団子状態で、天野選手は5番手の選手からもプレッシャーを受ける。

そして、S字を抜けたV字コーナーで多重クラッシュが発生。そこに天野選手も巻き込まれてしまった。

2台がコース上にストップしてしまった為、赤旗中断となる。

天野選手はなんとか再スタートを切ったが、ポジションは最後尾まで落ちてしまう。

マシンも、フロントウィング、アライメント、左サイドポーンツーンにダメージを負い、とても追い上げに期待できる状況ではない。

赤旗中断からの再スタート後は、諦めず4台を抜き9位でフィニッシュする。



とても残念な結果となってしまいましたが、初レースであらゆる経験ができたので、これを活かすことのできる2戦目以降が楽しみです。

LUXURY TVの取材や、マシンのカラーリング、天野選手の走りで、一番注目を受けたのは間違いのないと思います。

次戦は最低でも表彰台。そして5月12日の3戦目は、F3やFCJといった上のカテゴリーと同時開催です。今後のステップアップの為にも、関係者にインパクトを残す優勝を狙います。

引き続き、応援をよろしくお願いいたします。